

### 居場所

## 心が弱っている人のための とまり木

相談者とかかわりを続ける中で「人とかかわりたいけれど機会がない」「プログラムが決まっている病院デイケアや作業所などは合わない」「大人数の場所が苦手」という声がありました。

その声をもとに、障害という枠組みやプログラム活動に縛られない自由な空間で、参加者のストレングスを引き出し、高めていけるような場の提供を目指し、平成27年7月よりお茶会として始まりました。その後、参加者と一緒にこの場を「とまり木」と名付け現在に至ります。

現在の参加者は10代～30代の方が中心です。

### とまり木はこんな位置づけにあります。



### どんなことをしているの？

特別なプログラムは用意しません。お茶を飲みながら、ボードゲームをしたりおしゃべりしたり、絵を描いたり…ゆったりと好きなことをして過ごします。年に2回ほど、たこ焼きパーティーをしています😊

### 参加者はどんなひと？

参加については、CoCoへ相談に来ている方の中から、とまり木を必要と感じている方へ、担当の相談員が声かけを行っています。安心感をもって参加してもらえよう、公募はしていません。

★人と同じ空間で過ごすこと、つまり人の近況を耳にできる環境が、自然と参加者ひとりひとりの感受性を刺激しこれからの生活を変えていく力に繋がります。成果は少しずつで目に見えにくい形ですが、確実に必要な支援と考えています。とまり木の場からそれぞれの希望にむけて行動する気持ちをつけていけるような場所を作っていきたいです。



アートライフシェア!は  
「創作活動を通じた交流と社会参加の場」として  
日頃より創作活動をしている作家さんから  
作品を募集し定期的に企画展を行っています。

はじまり・・・

CoCoで相談している方の中に、趣味でアクセサリーを作ったり絵を描いたり、創作活動をしている方が何名かいることがそれぞれの相談員の面談の中でわかりました。体調が悪くなかなか外出ができずにいる方もいました。

そこで、作品を集め、企画展をするのはどうか?というアイデアが出ました。

vol.1 H29年6月～8月♥【春】

vol.2 H29年10月～12月♥【クリスマス】



第1回は、CoCoで行っている「心が弱っている人のためのとまり木」という集まりの場で、展示を行いました。作品が集まるかどうか不安でしたが、それぞれの相談員が個別に声をかけ10名の作家さんから40点以上の作品を出展頂きました。

また、この出展をきっかけに訪問に繋がった方や、企画展を見に外へ出る気持ちになってくれた方もいました。

第2回は、内輪のみで公開していたものを、DMを作り、福祉関係の事業所へ企画展のお知らせを行いました。会議や研修でCoCoに訪れた方にも作品を見て頂きました。写真はその時の様子です。

2017年度の開催は2回となりました。作家さん含め、来場者の方々にも好評を頂けて嬉しく思います。今後は、より多くの方の目に留めてもらう機会をつくり、アートライフを通して自信をもってもらえるような場を目指していきたいと思ひます!



## アートライフシェア! 紹介漫画 ☆

Comic: 志島 希実

